



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月9日

上場会社名 三井金属鉱業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5706 URL <http://www.mitsui-kinzoku.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西田 計治
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 杵内 哲 (TEL) 03-5437-8028
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家、報道機関 向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	373,619	20.5	35,766	49.2	33,075	87.7	21,798	107.0
29年3月期第3四半期	310,137	△8.4	23,969	217.7	17,623	—	10,529	—

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 17,616百万円(—%) 29年3月期第3四半期 △11,459百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	381.70	—
29年3月期第3四半期	184.36	—

※当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式について10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	551,800	197,335	34.0	3,281.19
29年3月期	518,981	184,421	33.5	3,046.43

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 187,381百万円 29年3月期 173,982百万円

※当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式について10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式について10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。なお、株式併合の影響を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は7円00銭となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	511,000	17.1	44,000	14.4	41,000	32.1	26,000	39.2	455.27

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※平成30年3月期の連結業績予想（通期）における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。株式併合の影響を考慮しない場合の平成30年3月期の連結業績予想（通期）における1株当たり当期純利益は45円53銭となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

（注）詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	57,296,616株	29年3月期	57,296,616株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	188,749株	29年3月期	186,505株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	57,109,093株	29年3月期3Q	57,110,672株

（注）当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式について10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数および期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 将来に関する記述等についてのご注意

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 株式併合後の配当および連結業績予想について

当社は、平成29年6月29日開催の第92回定時株主総会において、普通株式10株につき1株の割合での株式併合、および1,000株を100株とする単元株式数の変更を含む定款の一部変更が承認可決されており、平成29年10月1日を効力発生日として、株式併合を実施しております。これに伴い、株式併合の影響を考慮しない場合の平成30年3月期の配当予想および連結業績予想は以下のとおりであります。

（1）平成30年3月期の配当予想

1株当たり配当 期末 7円00銭

（2）平成30年3月期の連結業績予想

1株当たり当期純利益 通期 45円53銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. その他	11
継続企業の前提に関する重要事象等	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、企業収益の回復等を背景に、設備投資の増加や雇用・所得情勢の改善が進み、個人消費に持ち直しの動きが見られる等、緩やかな回復基調で推移しました。一方、米国の政策動向や地政学的リスクの増大が懸念される等、景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

こうした経済環境の中、当社グループは10年後のありたい姿である「機能材料、金属、自動車部品の3事業を核に、成長商品・事業を継続的に創出し、価値を拡大し続けている会社」を実現するため、「16中計」の2年目となる平成29年(2017年)度は、中計の帰趨を見極める重要な年と認識しており、各事業セグメントで「13中計の収穫」「既存事業の基盤強化」「将来への布石作り」の重点施策に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、前年同期比634億円(20.5%)増加の3,736億円となりました。

営業利益は、金属部門における亜鉛製錬設備の大規模定期修繕工事等の減益要因があったものの、機能材料部門において主要製品の販売量が増加したこと等により、前年同期比117億円(49.2%)増加の357億円となりました。

経常利益は、営業利益の増加に加え、持分法による投資損失が30億円、為替差損が9億円減少したこと等により、前年同期比154億円(87.7%)増加の330億円となりました。

また、特別損益においては、過年度関税10億円、固定資産除却損9億円等を特別損失に計上しました。加えて、税金費用および非支配株主に帰属する四半期純利益を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比112億円(107.0%)増加の217億円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①機能材料セグメント

キャリア付極薄銅箔、ディスプレイ用スパッタリングターゲット、および四輪車向け排ガス浄化触媒等の需要が堅調に推移したこと等から、当部門の売上高は前年同期比185億円(17.5%)増加の1,243億円となりました。経常利益は、主要製品の販売量が増加したこと等から、前年同期比123億円(109.1%)増加の236億円となりました。

(主要な品目等の生産実績及び受注状況)

銅箔(当第3四半期連結累計期間の生産量23千t)

②金属セグメント

亜鉛・鉛のLME(ロンドン金属取引所)価格が上昇したこと等から、当部門の売上高は前年同期比329億円(34.2%)増加の1,291億円となりました。経常利益は、LME価格は上昇したものの、亜鉛製錬設備の大規模定期修繕工事、エネルギーコストの上昇の影響等から、前年同期比5億円(22.3%)減少の20億円となりました。

(主要な品目等の生産実績及び受注状況)

亜鉛(当第3四半期連結累計期間の生産量160千t<共同製錬については当社シェア分>)

鉛(当第3四半期連結累計期間の生産量51千t)

③自動車部品セグメント

自動車用ドアロックの国内市場は回復の兆しが見られるものの、中国市場は伸びが鈍化し、米国市場は低調に推移しました。当部門の売上高は前年同期比77億円(9.5%)減少の744億円、経常利益は、前年同期比6億円(13.6%)減少の39億円となりました。

(生産実績及び受注状況)

自動車部品(当第3四半期連結累計期間の生産金額642億円)

④関連セグメント

各種産業プラントエンジニアリング事業においては、国内グループ企業の水力発電設備や大規模定期修繕工事による完成工事高が増加しました。加えて、非鉄金属相場が上昇したことや一部製品の販売量が増加したこと等から、当セグメントの売上高は前年同期比153億円（19.2%）増加の957億円、経常利益は、前年同期比20億円（62.6%）増加の53億円となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期通期（平成29年4月1日～平成30年3月31日）の業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の実績および事業環境等の変動要因を勘案の上、見直しております。

(金額：百万円)

		今回予想 (A)	前回予想 (B)	増減 (A) - (B)	増減率 (%)
売上高	機能材料	167,000	165,000	2,000	1.2
	金属	182,000	171,000	11,000	6.4
	自動車部品	101,000	100,000	1,000	1.0
	関連	131,000	128,000	3,000	2.3
	消去又は全社	△70,000	△57,000	△13,000	—
	合計	511,000	507,000	4,000	0.8
営業利益		44,000	43,000	1,000	2.3
経常利益	機能材料	28,500	27,300	1,200	4.4
	金属	4,500	2,800	1,700	60.7
	自動車部品	5,200	5,200	—	—
	関連	6,600	6,000	600	10.0
	消去又は全社	△3,800	△2,300	△1,500	—
	合計	41,000	39,000	2,000	5.1
親会社株主に帰属する当期純利益		26,000	24,000	2,000	8.3

	4～12月 実績	1～3月 見込	今回予想 平均	(参考) 前回予想
為替 (円/US \$)	112	110	111	111
亜鉛LME (\$ / t)	2,932	3,200	2,999	2,890
鉛LME (\$ / t)	2,331	2,400	2,348	2,275
銅LME (¢ / lb)	285	290	286	281
銅LME (\$ / t)	6,273	6,393	6,303	6,199
インジウム (\$ / kg)	230	270	240	208

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当社及び国内連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,304	17,991
受取手形及び売掛金	95,509	94,610
商品及び製品	29,609	37,084
仕掛品	26,653	33,370
原材料及び貯蔵品	43,826	52,657
繰延税金資産	4,349	5,163
その他	14,014	14,444
貸倒引当金	△199	△159
流動資産合計	229,068	255,162
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	167,307	170,985
減価償却累計額	△114,817	△118,556
建物及び構築物(純額)	52,490	52,428
機械装置及び運搬具	344,783	360,552
減価償却累計額	△287,298	△300,556
機械装置及び運搬具(純額)	57,484	59,996
鉱業用地	370	370
減価償却累計額	△232	△237
鉱業用地(純額)	137	132
土地	33,375	33,517
建設仮勘定	15,609	24,179
その他	57,805	59,956
減価償却累計額	△47,507	△50,004
その他(純額)	10,298	9,951
有形固定資産合計	169,397	180,204
無形固定資産	4,195	4,118
投資その他の資産		
投資有価証券	105,089	100,024
長期貸付金	507	498
退職給付に係る資産	3,939	4,193
繰延税金資産	2,715	3,250
その他	4,242	4,509
貸倒引当金	△174	△161
投資その他の資産合計	116,320	112,314
固定資産合計	289,912	296,637
資産合計	518,981	551,800

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	41,842	43,916
短期借入金	56,914	72,586
コマーシャル・ペーパー	18,000	27,500
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払法人税等	3,896	4,125
引当金	6,877	4,971
その他	35,125	42,828
流動負債合計	172,656	205,929
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	72,507	58,227
繰延税金負債	5,191	6,766
引当金	3,015	2,701
退職給付に係る負債	25,923	25,848
資産除去債務	3,224	3,160
その他	2,041	1,830
固定負債合計	161,903	148,535
負債合計	334,560	354,464
純資産の部		
株主資本		
資本金	42,129	42,129
資本剰余金	22,557	22,647
利益剰余金	97,633	115,620
自己株式	△605	△618
株主資本合計	161,713	179,779
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,666	3,861
繰延ヘッジ損益	△3,698	△10,990
為替換算調整勘定	13,982	15,279
退職給付に係る調整累計額	△682	△548
その他の包括利益累計額合計	12,268	7,602
非支配株主持分	10,439	9,953
純資産合計	184,421	197,335
負債純資産合計	518,981	551,800

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	310,137	373,619
売上原価	250,630	299,808
売上総利益	59,507	73,810
販売費及び一般管理費	35,538	38,044
営業利益	23,969	35,766
営業外収益		
受取利息	277	141
受取配当金	1,595	1,278
不動産賃貸料	510	539
その他	380	643
営業外収益合計	2,764	2,602
営業外費用		
支払利息	1,216	1,053
為替差損	1,004	77
持分法による投資損失	6,347	3,345
その他	542	817
営業外費用合計	9,110	5,293
経常利益	17,623	33,075
特別利益		
固定資産売却益	45	39
投資有価証券売却益	479	29
事業譲渡益	—	178
その他	114	70
特別利益合計	640	318
特別損失		
固定資産売却損	109	35
固定資産除却損	1,561	900
環境対策費用	170	419
過年度関税	—	1,085
その他	370	293
特別損失合計	2,212	2,734
税金等調整前四半期純利益	16,051	30,658
法人税、住民税及び事業税	5,819	7,676
法人税等調整額	△901	651
法人税等合計	4,917	8,327
四半期純利益	11,134	22,331
非支配株主に帰属する四半期純利益	605	532
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,529	21,798

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	11,134	22,331
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	409	1,144
繰延ヘッジ損益	△7,459	△6,603
為替換算調整勘定	△7,312	2,669
退職給付に係る調整額	93	138
持分法適用会社に対する持分相当額	△8,324	△2,063
その他の包括利益合計	△22,593	△4,714
四半期包括利益	△11,459	17,616
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△11,483	17,133
非支配株主に係る四半期包括利益	23	483

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	機能 材料	金属	自動車 部品	関連	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	101,498	84,688	82,262	54,171	322,620	△12,482	310,137
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,300	11,571	—	26,203	42,075	△42,075	—
計	105,799	96,259	82,262	80,375	364,696	△54,558	310,137
セグメント利益	11,295	2,583	4,573	3,261	21,714	△4,090	17,623

(注) 1. 外部顧客への売上高の調整額は、主に在外子会社の売上高の本邦通貨への換算処理における差額(予算作成時において想定した為替相場と期中平均為替相場との差)であります。セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,130百万円、在外子会社等の収益及び費用の本邦通貨への換算処理における差額△1,424百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(連結子会社の決算日の変更)

従来、連結子会社のうち決算日が12月31日であったMitsui Kinzoku Components India Private Limited及び、Automotive Components Technology India Private Limitedは同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引について必要な調整を行っていましたが、第1四半期連結会計期間より、決算日を3月31日に変更しております。

この決算期変更に伴い、当第3四半期連結損益計算書は、平成28年1月1日から平成28年12月31日までの12カ月間を連結しており、決算期を変更した連結子会社の平成28年1月1日から平成28年3月31日までの売上高は機能材料で2,442百万円、自動車部品で360百万円、セグメント利益又は損失(△)は機能材料で494百万円、自動車部品で△67百万円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	機能 材料	金属	自動車 部品	関連	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	119,328	110,828	74,471	63,855	368,483	5,135	373,619
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,975	18,339	—	31,919	55,234	△55,234	—
計	124,304	129,167	74,471	95,774	423,718	△50,098	373,619
セグメント利益	23,614	2,006	3,951	5,304	34,876	△1,801	33,075

(注) 1. 外部顧客への売上高の調整額は、主に在外子会社の売上高の本邦通貨への換算処理における差額(予算作成時において想定した為替相場と期中平均為替相場との差)であります。セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,098百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

4. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。